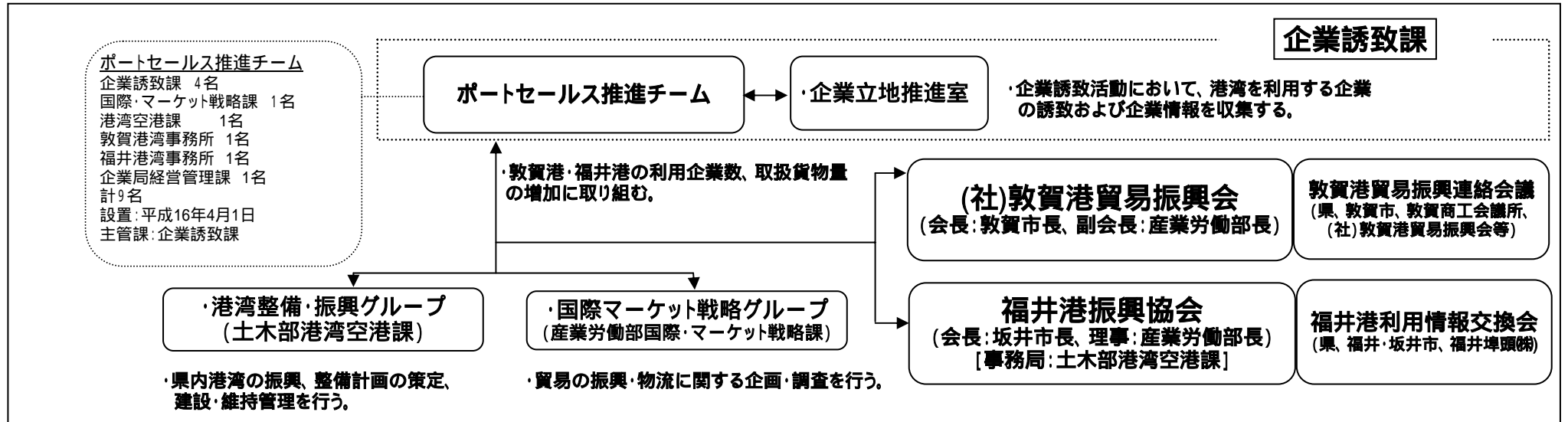
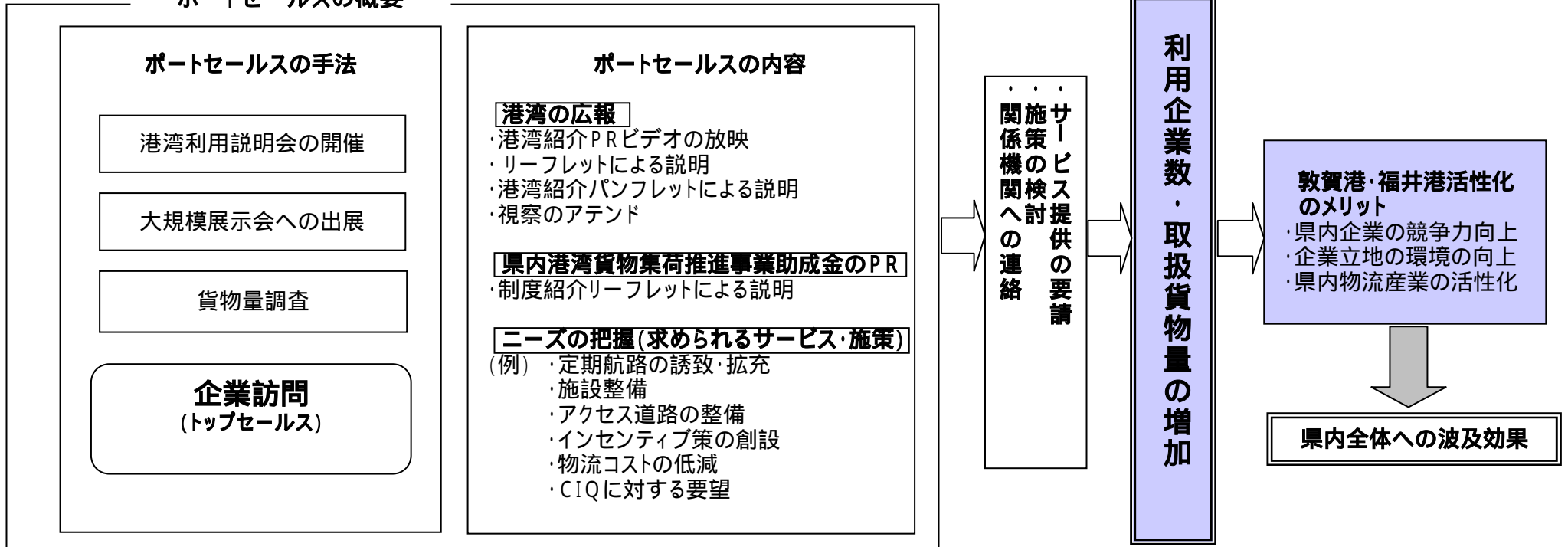


福井県が取り組むポートセールスについて(敦賀港・福井港)



ポートセールスの概要



敦賀港・福井港の助成制度

県内港湾貨物集荷推進事業

敦賀港の課題

- 県内コンテナ貨物の地元敦賀港の利用
約14%
- 大港湾に比べて航路や便数が少ないことが大きな要因
- 自社の出荷・納入のタイミングに合えば、敦賀港を利用

福井港の課題

- 福井港の貿易に係る
利用企業数 11社
取扱品目 6品目
- 特定の企業や景気の動向に入港隻数が大きく左右される現状

助成金の目的

- **< 敦賀港 >**
 - ・大港湾から敦賀港へ物流ルートの変更を促す。
 - ・敦賀港と競合する他港に対し優位性を示す。
- **< 福井港 >**
 - ・利用企業数および取扱品目を増やす。

助成制度の内容

- < 敦賀港 >
 - ・敦賀港と大港湾の海上運賃差額の一部に相当する額、1TEU当たり1万円を助成
- < 福井港 >
 - ・福井港と大港湾の物流コストの差額の一部に相当する額、外航船入港1隻当たり10万円を助成

助成制度の成果と反省点

- < 成果 >
 - ・企業訪問に当たり、大きなセールスポイントとなった。
 - ・敦賀港・福井港の利用の動機付けとなった。
- < 反省点 >
 - ・コンテナ航路の誘致や便数の増加にまではつながらなかった。